

メディア芸術拠点化に向けた取組みについて

1 取組みの背景

本市は、松本零士氏やわたせせいぞう氏、北条司氏など日本を代表する漫画家を輩出した地域であり、国内有数の歴史を持つ漫画同人サークル「アズ漫画研究会」の存在など、クリエイター輩出の文化的土壌を有している。

また、年間 250 万人以上が来訪する西日本最大級のポップカルチャー施設「あるあるCity」や、約 2 万点の原画や約 5 万冊の単行本を所蔵する「北九州市漫画ミュージアム」等のメディア芸術の文化施設が点在し、ポップカルチャーにおける「誘客」「集客」資源を有している。

更に、全国的に高く評価されている北九州フィルム・コミッションの活動により、数多くの映画・ドラマのロケ地となっており、地理的には東アジアと近いことから、近年はアジアからのロケ撮影も増えている。

これら本市で培われた誇るべき素地を活用・発展させ、地域活性化のけん引力となる、発信力の高い文化芸術の振興を図る。

2 取組みの位置づけ・目的

【計画年次：H28 年度～H32 年度】

北九州市文化振興計画（改定版）

基本理念

市民が文化芸術を身近に感じ、市民自身が文化芸術を支えるまち

施策3 発信力の高い文化芸術の振興

（4）漫画や「映画の街」の施策の実施・支援

- ・メディア芸術にフォーカスを当てた魅力ある先駆的事業を実施することにより、国内外からの集客を図るとともに、市民のシビックプライドを醸成する。
- ・本市が有する既存のメディア芸術資源と新たな事業を有機的に連携させることで、メディア芸術の更なる拠点化を図る。
- ・メディア芸術に接する機会を創出するとともに、次代を担う人材の育成やネットワークの形成を図る。

3 主な取組み

■平成 29 年度の取組み

(1) 文化庁補助事業の採択

本市は、文化庁が 29 年度公募した「先進的文化芸術創造活用拠点形成事業」に提案を行い、採択された。この事業は、芸術家等と産学官の連携により、持続的な地域経済の発展や、社会的包摂の取組みを牽引する地域経済の総合的な取組みを、先進的文化芸術創造拠点として国が支援するもの。本市への平成 29 年度補助額は 8,737 万円

公募は、「現代アート」、「メディア芸術」、「工芸・生活文化」、「共生社会」の 4 分野において行われ、全国で 7 事業が採択された。九州では唯一、本市が提案した「北九州メディア芸術創造拠点推進事業」が選ばれ、メディア芸術分野では、本市が全国で唯一の採択であった。

【国の支援内容】 芸・産学官が連携して取り組む以下の事業

文化芸術事業	地域の文化芸術資源を活用した文化事業
人材育成事業	文化芸術事業を実施するためのプロデュース人材やコーディネーター人材等を育成する事業
ネットワーク構築事業	文化芸術事業に関連した先進性を有する新たな価値（経済的価値や社会的価値）の創出等を図るためのネットワークを構築する事業

(2) 進捗と成果

①北九州ポップカルチャーフェスティバル【平成 29 年 11 月 4 日、5 日】

漫画・アニメ等のポップカルチャー拠点施設「あるあるCity」とタイアップした九州最大級のポップカルチャーイベントを開催。

劇場版マジンガーZとのコラボレーション等、多彩なイベントを実施し、本市のポップカルチャーを国内外に広く発信した。大規模な集客により、14 万人の来場者を記録した。



北九州ポップカルチャーフェスティバル 2017

②日中韓新人 MANGA 選手権【平成 29 年 7 月 19 日～23 日】

日中韓各国から公募・選抜等により選出された選手(各国7名計21名)が、現場(大会会場)で示される3つの指定項目(プログラム)で創作漫画を描き、腕を競う試合形式の大会。

平成29年度は、韓国・富川市で開催された「日中韓新人 MANGA 選手権」に日本から北九州市民を含む7名の選手が参加、「銀賞」と「銅賞」を受賞した。



③北九州国際漫画大賞【表彰式：平成 30 年 1 月 21 日】

平成29年度2回目となる「北九州国際漫画大賞」は、未来の漫画家たちを応援する「ジュニア部門」を創設。前年度を大幅に上回る世界22カ国・地域から1,060作品もの応募があり、国内や台湾、タイ、中国などの作品が選ばれた。表彰式には松本零士審査委員長ほか審査員各氏及び受賞者が出席。表彰式の後、

人気漫画家 うえやまもち氏や萩岩睦美氏、講談社「モーニング」編集部の小松悠真氏によるトークセッションが行われ、「漫画の街・北九州」を国内外に発信した。



平成29年度授賞式の様子

④訪れてみたい日本のアニメ聖地 88 (2018 年版) に選定

平成29年9月、アニメツーリズム協会による『訪れてみたい日本のアニメ聖地 88 (2018 年版)』において、福岡県内では唯一、「北九州市漫画ミュージアム」が選定された。

選定を機に、アニメツーリズム協会と連携し、インバウンド向けのチラシ等の制作を行った。



⑥人材育成事業、ネットワーク構築事業【平成 29 年 11 月から】

芸・産学官の関係者が集う芸産学官ネットワーク会議を定例で開催。40 名が参加した。

芸術は漫画家・クリエイター、産業はアニメ制作会社や中小ものづくり企業、学は大学関係者等、多様な主体が集結。メディア芸術に関する人材確保や育成の仕組みづくり、プラットフォーム整備の方策について意見交換を行った。



芸産学官ネットワーク会議の様子

⑥2019 年の「アジア MANGA サミット」日本大会が北九州市で開催されることが決定【平成 30 年 2 月 2 日発表】

日本・中国・香港・韓国・台湾を中心に 10 カ国程度の参加国・地域の漫画家および研究者、事業関係者等、約 200 名による国際会議を主体とした国際交流イベント。1996 年の日本開催を皮切りに、毎年アジア各国で行われており、日本では過去 4 回開催されている。（1996 年東京・いわき大会、2002 年横浜大会、2008 年京都大会、2012 年鳥取大会）

マンガ家同士の親睦を深めるだけでなく、テーマを決め、漫画界の振興・方向性等の会議や原画展、訪日した漫画家等によるシンポジウム等も行う予定。



発表会見の様子

⑦その他の取組み

- ・市勢概要に、本市出身の漫画家・松本零士さんの漫画のキャラクターを採用（広報室）
- ・平成 29 年 10 月に開催された TGC 北九州 2017 では、女性からも絶大な人気を誇る 2 つのアニメ「ユーリ!!! on ICE」、「おそ松さん」とのコラボレーショングッズを販売（産業経済局）
- ・ふるさと北九州市応援寄附金（ふるさと納税）の返礼品にイラストレーターによる「似顔絵」を採用（財政局）

■平成 30 年度の取組み

(1) 文化庁補助事業の採択

文化庁が新たに創設した「国際文化芸術発信拠点形成事業」に提案を行い、採択された。

この事業は、地域の文化芸術の力を活用した国際情報発信力のある拠点の形成により、2020 東京大会とその後を見据えた効果的な対外発信を行い、訪日外国人（インバウンド）誘致の増加、活力ある豊かな地域社会の実現に資することを目的に、原則として5年間（平成30年度～34年度）、上限3億円／年、総事業費の1/2を国が継続支援するもの。本市への平成30年度補助額は1億3,500万円。

【主な取組み概要】

文化芸術事業	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市漫画ミュージアムでは、日中韓新人 MANGA 選手権や北九州国際漫画大賞等の企画を充実させるとともに、北九州ポップカルチャーフェスティバルを拡充し、アジアインバウンドによる誘客を強化。
国際情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・各イベント等にあわせた東アジア各国のメディア招聘など、本市のメディア芸術の国際的なPRの実施 ・「映画の街・北九州」による国際情報発信の取組み
人材育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地元漫画プロダクションによる人材・発掘プロジェクト「TOKIWA 創プロジェクト」と連携し、プロデュース人材やコーディネーター人材等を育成。
ネットワーク構築事業	<ul style="list-style-type: none"> ・他のメディア芸術に関するミュージアムとの連携や、芸産学官連携のもと、ものづくり系企業、大学と漫画家・クリエイターとが連携した企画の実施。

※既存の三つの柱に加え、国際情報発信の柱を追加

(2) 具体的な事業予定

①文化芸術事業

○北九州ポップカルチャーフェスティバル（KPF）

漫画・アニメ等のポップカルチャー拠点施設「あるあるCity」とタイアップした九州最大級のイベント。本事業のコアイベントとして開催。

5回目となる平成30年は、西日本総合展示場に2,000人規模のメインステージ



北九州ポップカルチャーフェスティバル 2015

を設置し、人気アニメとのコラボレーション企画、声優イベントやアニソンイベント、世界コスプレサミット九州予選等を開催し、メディア芸術の魅力を世界に発信する。

○国際的なマンガフェスタの開催

世界各国の漫画家を招聘した国際的なマンガフェスタを開催し、作品展示、トークイベント等により、世界の漫画文化に触れ合う機会の創出と、海外に向けた本市の漫画文化の発信を行う。

○日中韓新人 MANGA 選手権の本市開催

中国、韓国の漫画関係機関と連携し、日中韓の新人漫画家による現場創作の漫画交流試合。

平成 30 年度は本市で開催し、3 か国の連携により漫画文化の発展を図るとともに、世界に向け「漫画の街・北九州」を強力に発信する。



昨年度の受賞式の様子

○銀河鉄道 999 GALAXY OPERA

【平成 30 年 7 月 21 日、22 日】

平成 30 年に「銀河鉄道 999」がテレビ放送開始 40 周年を迎えることを記念し、民間企業を中心となった実行委員会により、同作品を舞台、オペラ作品として、松本零士の故郷である北九州市において特別公演を行い、国内外に広く情報を発信する。



©松本零士・東映アニメーション

○北九州市漫画ミュージアム企画展「新海誠展—「ほしのこえ」から「君の名は。」まで—」

【平成 30 年 7 月 21 日～9 月 24 日】

アニメーション監督・新海誠の企画展を、北九州市漫画ミュージアムにおいて開催する。

個人制作による商業デビュー作品「ほしのこえ」から、国内外で記録的大ヒットとなった最新作「君の名は。」までを完全網羅し、新海誠のアニメーション作品の魅力に迫る。“美しく壮大な世界ですれ違う



© 2016 「君の名は。」製作委員会
©Makoto Shinkai/CoMix Wave Films
©Makoto Shinkai/CMMY

男女の物語”を完成度の高い作品に結晶させ、登場人物やその世界を鮮やかに描き出す作品群は、世代や国境を超えて多くの人々を引きつける。

夏休み期間中の開催により、若年層の集客はもちろん、インバウムの集客も期待される。

○北九州国際漫画大賞

本市出身で北九州市漫画ミュージアム名誉館長の松本零士氏を審査委員長に迎え、国際的な4コマ漫画のコンテストを開催する。

30年度は、さらに国際的な情報発信により、漫画の持つポテンシャルや、漫画文化を広く発信する。



②国際情報発信

○海外メディアの招聘

北九州空港の国際便が就航予定の台湾を中心に、アジア各国のメディア関係者を北九州ポップカルチャーフェスティバルや北九州市漫画ミュージアム等に招聘し魅力を発信する。

○SNS等情報発信の検討

若年層を中心に、SNS等による情報取得の割合は急速に拡大している。特にメディア芸術の分野については、SNS等での情報発信による広報効果が極めて有効であることから、その活用について検討する。

○「映画の街・北九州」による国際情報発信の取組み

映画・ドラマ撮影を支援する北九州フィルム・コミッションは平成27年度にタイのテレビドラマなど3作品が撮影され、撮影場所の八幡東区の河内藤園がタイのSNSで評判になり、個人旅行者が増えている。

平成30年度は、海外作品誘致に本格的に取組み、ビザ緩和により急激に訪日客が増加しているタイ王国を中心にアジア地域をターゲットとした誘致活動に精力的に取り組む。また、アニメの誘致にも取組み、地域の観光資源を映画、アニメを通じて国内外に発信する。



北九州市八幡東区・河内藤園

③人材育成事業

○ビジネスプロデュース人材育成講座の企画・実施

平成 29 年度から開催しているビジネスプロデューサー育成を目的とした養成講座を継続的に企画・実施する。

○TOKIWA 創プロジェクトとの連携

人材の発掘・育成「TOKIWA 創」プロジェクトとの連携企画を実施する。プロデューサー育成においては、コンテンツプロデュース実践のチャレンジ機会となる企画実施を行う。



TOKIWA 創プロジェクトから生まれた北九州市広報アニメーション「宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘」

④ネットワーク構築事業

○クリエイター人材交流の場の企画・実施

クリエイター同士の交流を目的とした交流会の企画、交流スペースの設置し、ものづくり系企業、情報系学部、専門学校と漫画家・クリエイターが連携したコンテンツイベントを実施する。